

Ⅱ 基本構想

第7次笠岡市総合計画

第1章 将来ビジョン

第2章 笠岡づくりの基本理念

第3章 将来の人口フレーム

第4章 笠岡づくり戦略の柱

第5章 施策体系

～ 2025年度（平成37年度）の笠岡像～

2025年度（平成37年度）を計画目標年度とする本計画では、笠岡市の目指す将来都市像を次のように掲げます。

元気・快適・ときめき
進化するまち笠岡

1

笠岡市に暮らす市民は誰もが郷土愛を感じ、住み慣れた地域でいつまでも**“元気”**に活躍できる魅力あるまちをつくります。

2

子どもから高齢者までが共生し、安心して**“快適”**な生活を送ることができる活気と希望にあふれた賑わいのあるまちをつくります。

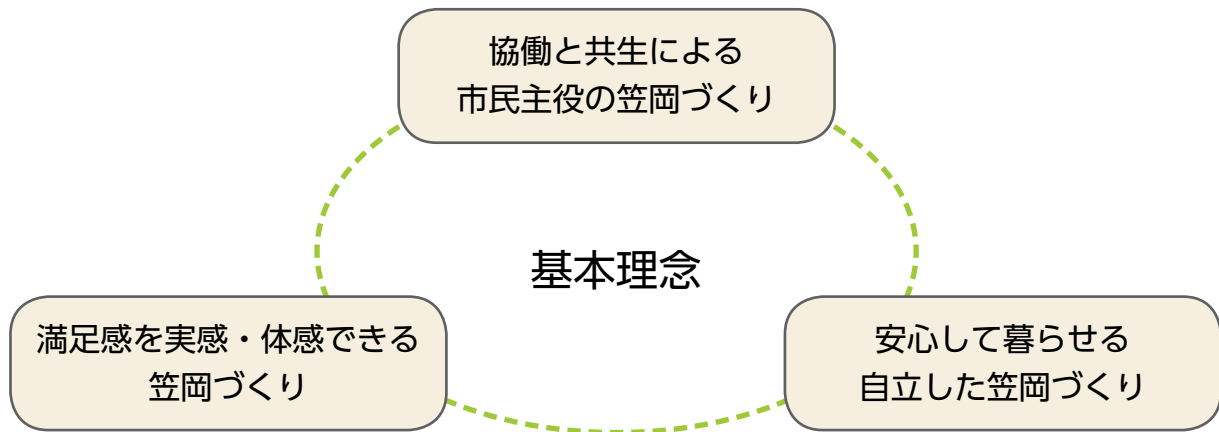
3

市民の笑顔があふれる明るいまちには様々な人が集い、そこには**“ときめき”**を感じる新しい未来が拓けるようになります。

4

こうした**“元気・快適・ときめき”**を創造しながら、豊かな地域資源を活かして時代の変化に柔軟に対応する**“進化するまち笠岡”**を実現したいと考えます。

本計画の基本理念は、笠岡づくりを進めていく上で、その根底にある基本的な考え方であり、市民みんなで共有すべき大切な考え方です。本計画では、次の基本理念を掲げます。



◎協働と共生による市民主役の笠岡づくり

まちづくりにおいて、そこに暮らす人々の協働の力を欠かすことはできません。そして、その重要性は今後もますます大きくなるものと考えます。

笠岡市に暮らす市民や笠岡市を構成する地域、そして行政とが目指すべきビジョンを共有し、それに向かって力・知恵を合わせながら活動していくこと、それが笠岡市の考える協働です。

また、笠岡市は豊かな自然や歴史・文化等様々な資源から成り立っており、いずれも欠かすことのできない笠岡らしさの源です。これらの資源を活かして、支え合いながら暮らしていく多様な姿、それが笠岡市の考える共生です。

市民がまちづくりの主役として共に手を携えて活躍できる笠岡づくりを進めます。



◎満足感を実感・体感できる笠岡づくり

市民一人一人が笠岡市の財産です。そして、市民一人一人の幸せこそが、笠岡市にとっての幸せであると考えます。

人がどこに幸せを感じるかは個人差がありますが、その全てを笠岡市の未来を考える上での大切なヒント・財産として捉えます。

子ども、高齢者、障がい者等、何らかの支援が必要な市民も含め、笠岡市に暮らし、学び、働く全ての市民が、自分の夢と希望に満ちた将来に向かって元気に活躍でき、笠岡市に住んでいてよかったと幸せを実感できるようなまちをつくることが重要です。

笠岡市での暮らしに満足感を実感・体感できるような笠岡づくりを進めます。

◎安心して暮らせる自立した笠岡づくり

少子高齢化や価値観の多様化等、様々な社会経済状況の変化の中で、市民の暮らしや地方自治体そのものの財政状況は、今後ますます不確実性を増し、厳しいものとなることも十分に予測されます。

こうした厳しい状況の中にあっても市民がいつまでも安心して安全に暮らせるように、持続的・安定的な都市運営をすることが求められています。

笠岡市に暮らす市民一人一人の安心と安全の向上を基本に、これを可能とするための独自の財源確保に取り組みながら、限られた資源を重点的かつ集中的に投入する等、市民が安心して暮らせる自立した笠岡づくりを進めます。



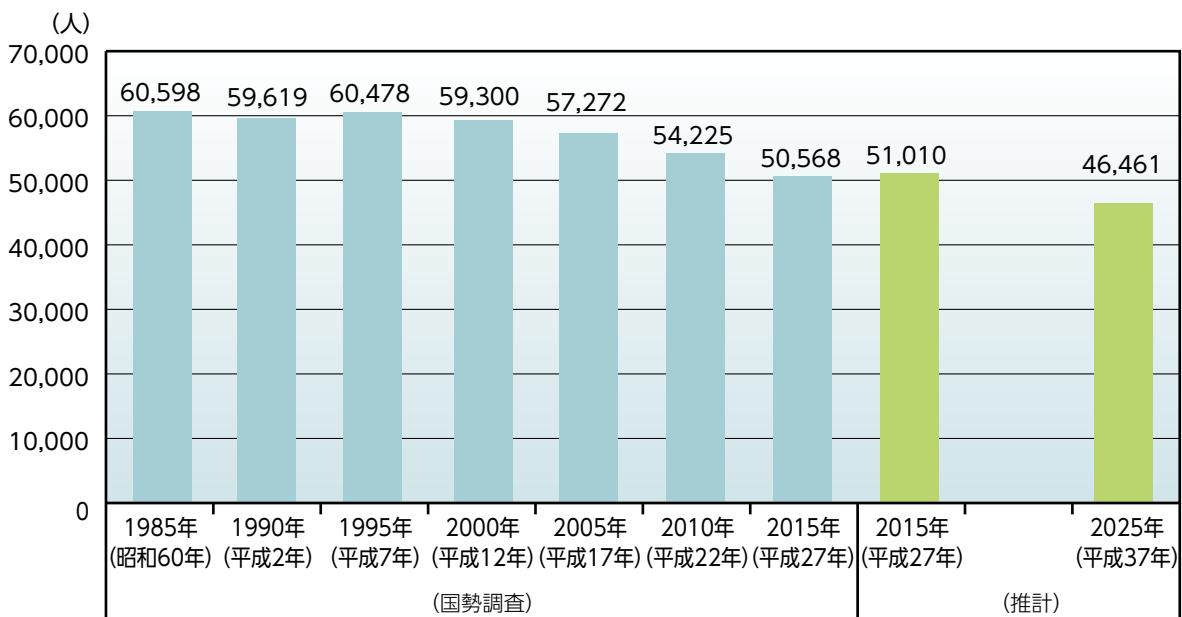


本計画の将来人口フレームについては、「笠岡市人口ビジョン」(2015年度(平成27年度)策定)において設定された将来目標人口と整合性のあるフレーム設定を行う必要があります。

本計画の目標年度である2025年度(平成

37年度)の将来人口について、「笠岡市人口ビジョン」では46,461人の推計がなされているところであり、基本的にはこれを本計画の将来人口フレームとして採用するものとします。

笠岡市の将来人口

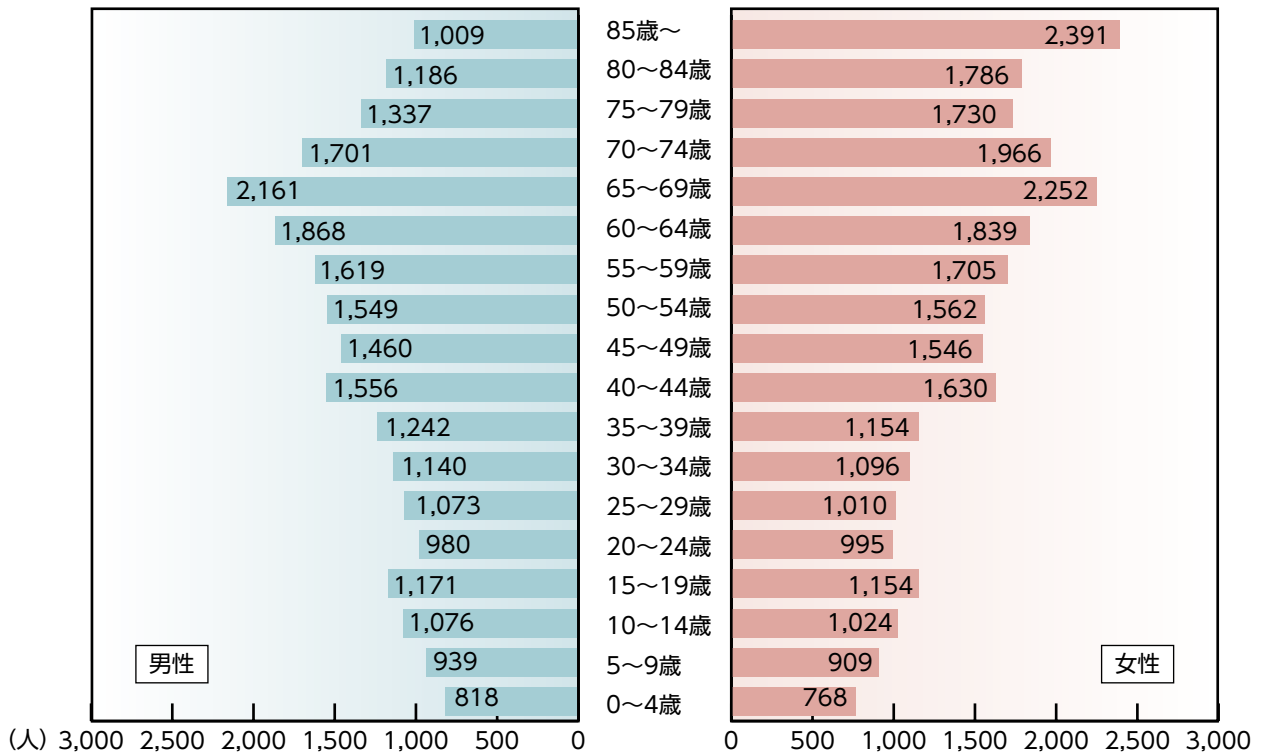


	国勢調査							推計	
	1985年 (昭和60年)	1990年 (平成2年)	1995年 (平成7年)	2000年 (平成12年)	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2015年 (平成27年)	2025年 (平成37年)
年少人口 (0~14歳)	11,813	10,123	9,575	8,610	7,453	6,350	5,552	5,322	4,840
生産年齢人口 (15~64歳)	38,295	37,819	37,330	35,406	33,665	31,057	27,439	27,843	24,096
老年人口 (65歳以上)	10,490	11,677	13,573	15,284	16,154	16,818	17,577	17,845	17,525
総数	60,598	59,619	60,478	59,300	57,272	54,225	50,568	51,010	46,461
年少人口 (0~14歳)	19.5%	17.0%	15.8%	14.5%	13.0%	11.7%	11.0%	10.4%	10.4%
生産年齢人口 (15~64歳)	63.2%	63.4%	61.7%	59.7%	58.8%	57.3%	54.3%	54.6%	51.9%
老年人口 (65歳以上)	17.3%	19.6%	22.4%	25.8%	28.2%	31.0%	34.8%	35.0%	37.7%
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※国勢調査(2015年(平成27年))については、「年齢不詳人口」166人を按分している。

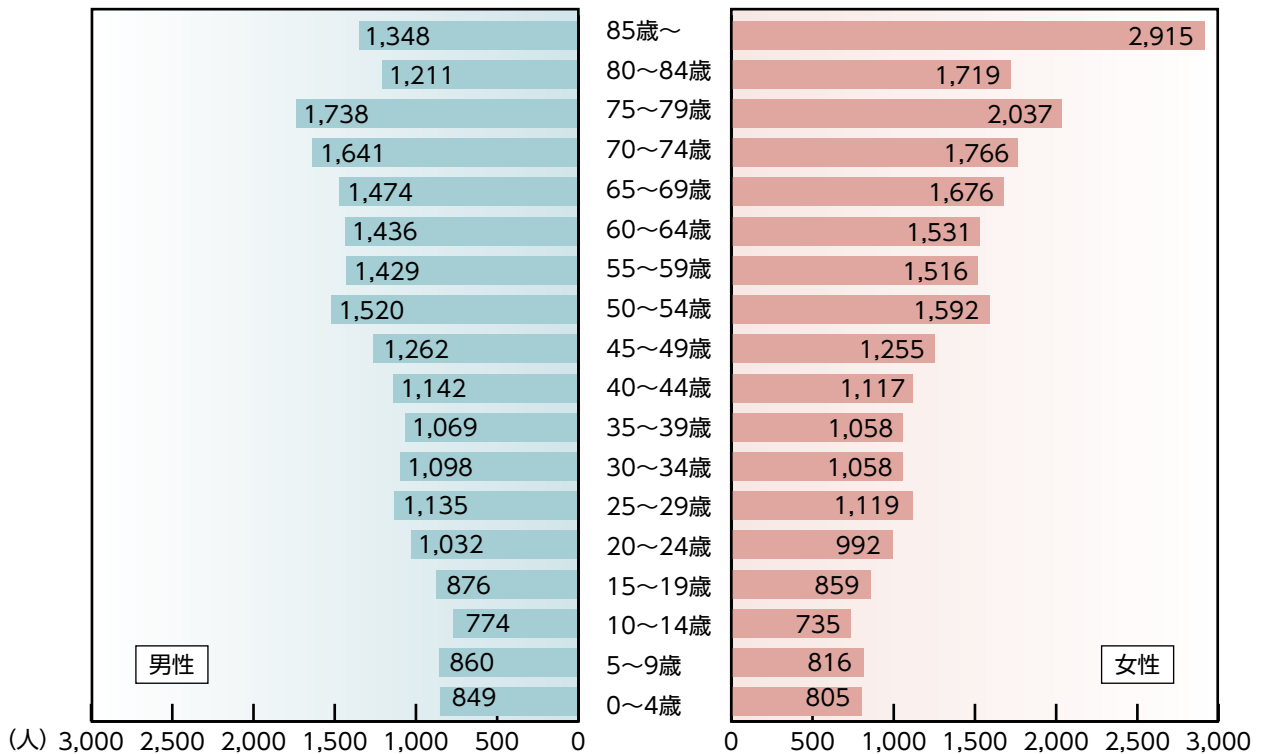
※推計人口は、「笠岡市人口ビジョン」による。

5歳階級別人口構造 (2015年 (平成27年) (国勢調査) ⇒2025年 (平成37年) (推計))



(国勢調査)

※年齢不詳人口 166 人を除く



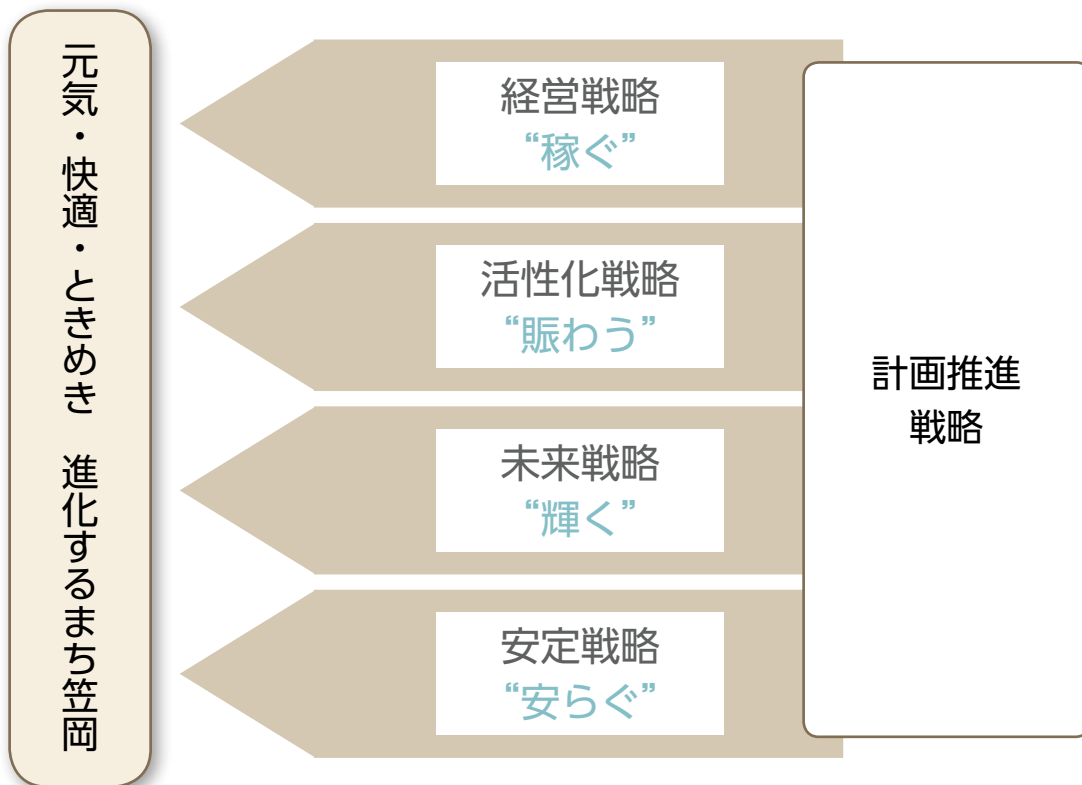
～将来ビジョンの実現に向けた4つの基本戦略と1つの計画推進戦略～

本計画では、将来ビジョンの実現に向け、多様な取組を戦略的に進めていくために、4つの基本戦略と1つの計画推進戦略を笠岡づくり戦略の柱として設定します。

4つの基本戦略は、市民の生活を取り巻く様々な分野の笠岡づくりを戦略的に進める上で

基本となる戦略の柱です。

また、計画推進戦略は、これらの4つの基本戦略を含め、安定的・計画的な笠岡づくりを進めていく上で不可欠となる行財政や計画管理に関する戦略の柱です。



経営戦略 “稼ぐ”

笠岡市にとって、これからの笠岡づくりを考えていく上で、地域経済の活性化は重要であり、笠岡市が定住の地として選ばれるためにも、そこに安定した仕事があることが不可欠です。

こうした視点から、農業・水産業等の既存の地域産業に加え、観光産業等の成長が期待できる新たな産業の創出に取り組む等、笠岡市の豊かな地域資源や立地条件を活用した地域経済の活性化を図ることで、市民・事業者を含めた市全体として“稼ぐ”ことのできる経済・経営環境の創出を進めていきます。

活性化戦略 “賑わう”

全国的な人口減少社会の中で、都市としての一定の人口規模を維持・確保していくための取組や市民と行政との協働によるまちづくりの取組がこれまで以上に重要になってきます。

こうした視点から、笠岡市のまちづくりの主役である市民の参画と協働を基本としながら、人を惹き付ける求心力をもった魅力ある都市空間・環境の形成に取り組むとともに、笠岡諸島等、市内のそれぞれの地域状況・特性に応じた都市機能の整備や多様な交流を促進し、暮らす市民の営みや行き交うひとで“賑わう”まちづくりを進めていきます。

未来戦略 “輝く”

笠岡市には様々な資源がありますが、笠岡市に生まれ、育つ子どもたちや暮らす市民こそが笠岡市の最大の宝・財産であると考えます。

こうした視点から、1人でも多くの子どもたちが笠岡市で生まれ、育つことのできる環境を整えていくとともに、笠岡市に暮らす誰もが笠岡市を自らの故郷として愛することのできる誇りと郷土愛の醸成により、笠岡市の現在と未来をつなぐことのできる“輝く”人づくり、“輝く”笠岡づくりを進めていきます。

安定戦略 “安らぐ”

少子高齢社会や頻発する大規模災害等を背景に、これまで以上に安心・安全に対するニーズが高まる一方で、都市化・小家族化や生活スタイルの多様化等を背景に、地域における結びつきが希薄化する等、地域が本来持っていたはずの地域力が弱まってきています。

こうした視点から、笠岡市民の誰もがいつまでも住み慣れた地域の中で元気に安心して暮らしていけるような仕組みづくりを進めるとともに、防災・防犯等の安全面における生活機能の向上を図り、市民誰もが“安らぐ”ことのできる笠岡づくりを進めていきます。

計画推進 戦略

厳しい財政状況の中、安定的・計画的な笠岡づくりを進めていく上で、行財政の健全化や都市としての競争力の確保・向上等がこれまで以上に求められています。

こうした視点から、4つの基本戦略に基づく笠岡づくりを着実に進めていくため、その基礎体力としての行財政の健全化や財源の確保を進めるとともに、笠岡づくりに関する市民向けの情報発信だけではなく、笠岡市の魅力を広く市外にも発信していくシティ・プロモーションにも取り組みます。また、本計画による笠岡づくりを俯瞰的に捉える進捗・計画管理を通じて、本市の笠岡づくりを総合的かつ計画的に推進していきます。



笠岡づくり戦略の柱に基づく施策の体系は次のとおりです。

将来ビジョン

元気・快適・ときめき 進化するまち笠岡

基本理念

協働と共生による
市民主役の笠岡づくり

満足感を
実感・体感できる
笠岡づくり

安心して暮らせる
自立した笠岡づくり

戦略の柱

戦略分野

経営戦略 “稼ぐ”

- 企業誘致の推進と雇用創出
- 農業振興
- 商工業振興
- 水産業振興
- 観光振興
- 干拓地農業の活性化

活性化戦略 “賑わう”

- 魅力的で快適に暮らせる都市形成
- 定住・住宅対策
- 道路ネットワーク及び港湾・漁港の整備
- 利用しやすい公共交通システムの構築
- 離島振興
- 市民参画・協働の推進
- 多様な交流の促進
- 広域連携の推進

未来戦略 “輝く”

- 子ども・子育て環境の整備
- 学校教育の充実
- 生涯学習の推進
- スポーツの振興
- 歴史の継承・文化の振興・カブガニの保護と活用
- 人権・男女共同参画・平和

安定戦略 “安らぐ”

- 地域福祉の推進
- 健康づくり
- 医療・救急体制の整備
- 障がい者・障がい児福祉の充実
- 高齢者福祉・介護の充実
- 社会保障
- 身近な上水道
- 健全な下水道運営
- 消防体制の整備
- 地域防災の推進
- 防犯・交通安全の環境づくり
- 廃棄物・環境保全

計画推進 戦略

- 情報・プロモーションの推進
- 健全な財政運営
- 財源の確保
- 計画管理